

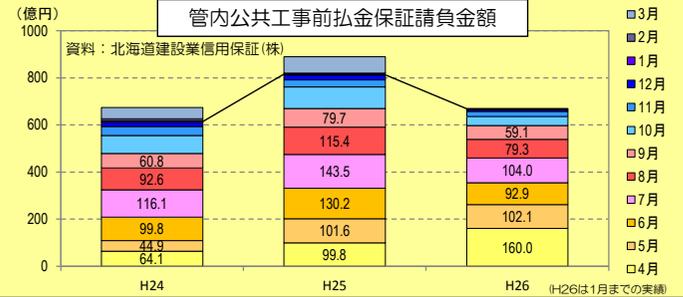
平成27年度予算 景気対策事業

総事業費 1,561,076千円



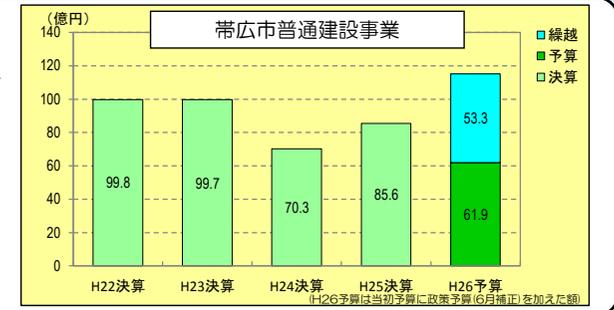
フードバレーとから

地域経済の状況



＜日本銀行帯広事務所「十勝の金融経済概況」平成26年12月5日＞
 ◇十勝の景気は、持ち直している。
 ◇公共投資は、緩やかに減少しているが、なお高水準を維持している。

＜財務省帯広財務事務所「とから経済情報」平成26年11月＞
 ◇管内経済は、一部に弱さが残るものの、持ち直している。
 ◇公共事業を前払金保証請負金額でみると、治山・治水等で発注が減少しており、前年度累計を下回っている。



景気対策事業の実施

内閣が進める「金融政策」「財政政策」「成長戦略」のいわゆる「三本の矢」からなる経済政策の効果もあってか、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費等に弱さがみられる。

また、地方においては、「三本の矢」による経済政策の効果がなかなか行き渡らず、経済の好循環の実現が十分には進展していないことから、引き続き一定規模の公共事業や雇用対策事業が必要であると判断し、下記の点に配慮しながら景気対策を実施するもの。

1. 国の地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策に基づく事業を積極的に活用しながら、地域経済の活性化、雇用の確保、受注機会の拡大のため、必要性の高い事業を拡充するとともに、事業者の規模に配慮した上で発注を行う。
2. 間断ない発注を行うため、前年度の3月補正予算において債務負担行為を設定し、工事の発注を前倒しするほか、冬期間における雇用の確保にも配慮する。
3. 環境モデル都市として、環境にもよとにもやさしい生活環境づくりを図る。



☆国の地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策の活用

総額 622,400千円

【地域住民生活等緊急支援のための交付金の活用】

○地域消費喚起・生活支援型 事業費：369,000千円

- ・(仮称)プレミアム付商品券の発行
- ・(仮称)ふるさと名物の販売促進
- ・(仮称)ふるさと旅行券の発行



○地方創生先行型 事業費：121,000千円

- ・地方版総合戦略の策定
- ・UIJターンの促進
- ・十勝産マーケットイン調査及び商品開発・流通事業ほか13事業

【その他】

○下水道雨水管整備 事業費：72,400千円

○森林作業道整備 事業費：60,000千円

(一部、3月補正予算計上、繰越明許)

☆規模に配慮した発注

総額 352,069千円

【大規模】

○生活基盤整備 事業費：100,000千円

- ・特殊舗装整備、オーバーレイ、側溝整備

○公共施設安全対策 事業費：135,272千円

- ・小学校(光南、豊成、啓西)
- ・コミュニティセンター等(東、愛国、啓西)
- ・児童保育センター(緑ヶ丘、青葉)



【中規模】

○公共施設の改修 事業費：81,436千円

- ・小中学校、コミュニティセンター等、みどりと花のセンター、グリーンステージ

【小規模】

○小規模営繕の活用 事業費：14,961千円

- ・小中学校、保育所、へき地保育所、児童保育センター、コミュニティセンター等

○交通安全標識設置 事業費：400千円

○(仮称)住まいの改修助成金 事業費：20,000千円

☆発注時期の配慮

総額 544,569千円

○早期発注(債務負担行為設定) 事業費：527,632千円

- ・生活道路整備、特殊舗装整備、コミュニティセンター耐震化(大規模事業の再掲41,332千円)、配水管整備、下水道管渠整備

○冬期間の発注 事業費：16,937千円

- ・河川木、街路樹の剪定等

☆雇用の確保(一部再掲)

総額 63,030千円

○季節労働者対策 事業費：50,355千円

- ・14事業、雇用人数 163人

(うち2事業16,160千円は冬期間の発注事業の再掲)

○その他雇用対策 事業費：12,675千円

☆環境への配慮

総額 36,500千円

○緑丘小学校ボイラー改修 事業費：36,500千円